

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表 （令和5年度分）

1. 認定の日付

令和4年7月29日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社ジェイアール西日本デイリーサービスネット

3. 認定事業適応計画の実施期間

令和4年8月1日～令和9年3月31日

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

株式会社ジェイアール西日本デイリーサービスネットは、新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化によるテレワークの浸透や混雑回避といったお客様の行動変容により、従来の水準と比べ恒常的に、当社サービスに対するご利用が少なくなることを想定。このような状況の中、さらなる成長を目指すべく、ニューノーマルへの対応、デジタル技術の導入等を進めるもの。

計画のうち、令和5年度においては、大阪駅における移動の付加価値向上およびエキマルシェブランドの価値向上を目的に、大阪駅構内商業施設「クロスT」のエキマルシェブランドへの統合を実施し、大阪駅の一体的な駅ナカMDの最適化に取り組んだ。加えて、JR西日本グループ共通ポイント「WESTER」へ参画に伴うシステム導入、非対面・非接触へのニーズに対応したビジネスホテルの新規開業等に取り組んだ。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

令和5年度においては、目標とするROA6.1%に対し、実績は10.1%と計画を上回った。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

財務内容の健全性の向上指標については、令和5年度は有利子負債／CFが2.6倍となり、経常収支比率が113.8%となった。

（4）実施した事業適応計画の内容

令和5年度においては、自己資金により事業適応計画の認定申請書別表2-1に記載した計画（480百万円）のうち、投資（220百万円）を実施。

令和5年度においては、大阪駅における移動の付加価値向上およびエキマルシェブランドの

価値向上を目的に、大阪駅構内商業施設「クロスT」のエキマルシェブランドへの統合を実施し、大阪駅の一体的な駅ナカ MD の最適化に取り組むなど、概ね予定どおり進捗している。この結果、令和5年度における全体の売上高の1%以上となった。